

# 「折込メディアの価値をアップデートする」 — 折込人の挑戦 —

11月8日、9日の2日間、都市センターホテル（千代田区平河町）で「2018折込広告全国大会」が開催された。第33回となる今回のテーマは「折込メディアの価値をアップデートする—折込人の挑戦—」。8日の研修会には230名、9日の本大会には370名が参加。全国から新聞折込広告に関わる160以上の企業や協会の方々が一堂に会して、新聞折込広告業界の今とこれからを考える貴重な機会となった。

11月9日の本大会は、「新聞折込広告が再び輝きを取り戻していくためには、新たな活用スタイルを構築し、革新的な取り組みを具体化していくこと、折込業界人の進化を促すことが必要との共通認識から、大会テーマを『折込メディアの価値をアップデートする—折込人の挑戦—』とした」という長屋和男 大会実行委員長  
の開始宣言から始まった。次いで、大会会長の土橋誠志 日本新聞折込広告業協会理事長があいさつ。さらに、来賓として日本アドバイザーズ協会専務理事 鈴木信二氏、読売新聞東京本社 取締役販売局長 川田幸雄氏、東京都新聞販売同業組合 組合長 大野善司氏があいさつ。

デジタル時代であるからこそ見出される新聞折込広告の可能性について、新聞のメディア環境、新聞販売を取り巻く環境の向上による新聞折込広告業界への支援等について語られた。



基調講演では、ローカルベンチャーの先導役として知られるエーゼロ(株)、(株)西栗倉・森の学校 代表取締役 牧大介氏が登壇。「地域を活かし地域に生かされるローカルベンチャーのビジネスとその可能性について」をテーマに、地域の人と自然と向き合いながらビジネスを創造し、豊かさをもたらしていく取り組みの意義について語られた。

エーゼロ株式会社 / 株式会社 西栗倉・森の学校  
代表取締役  
牧 大介氏



11月8日の研修会は、2つのパネルディスカッションで構成され、第1部は、多摩美術大学教授、コミュニケーション・ラボ代表 佐藤達郎氏をモデレータに、サミット(株) 取締役執行役員営業企画部マネージャー 中島均氏、味の素AGF(株) 事業戦略部長 城戸宏之氏、マーベリック(株) 代表取締役 美留町督氏をパネリストに、「折込メディア活用の新機軸」をテーマに、特徴的な新聞折込広告の活用事例を共有しながら、激変するメディア環境、消費動向に応じた新たな折込メディアの価値についてディスカッションが交わされた。



右から) 佐藤 達郎氏、中島 均氏、城戸 宏之氏、美留町 督氏



右から) 指出一正氏、並河 進氏、丸山 孝明氏、小松 理虔氏

第2部は、月刊「ソトコト」編集長 指出一正氏をモデレータに、(株)電通デジタル 執行役員・アドバンストクリエティブセンター長 並河進氏、農業プロデューサー (株)代官山ワークス 代表取締役社長 丸山孝明氏、ローカルアクティビスト ヘキレキ舎 代表 小松理虔氏をパネリストに、「折込人の仕事をアップデートする～地域の暮らしと仕事の見つめ方」をテーマに、各地で見られるソーシャルな取り組みにフォーカスしながら、地域社会の求めに応じて創造的に仕事を作り出していくことについてディスカッションが交わされた。